令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４-016

プロジェクト名　NU SDGｓ Projects.

プロジェクトの概要

本プロジェクトの主な目的は、女性特有の問題や関連する SDGs の課題への理解を深めることである。これまでタブー視されていた、女性の生理に関するデリケートな問題について考え、体験してもらう機会を設けるため、10 月の文化祭を通じて「生理痛体験会」、「生理用品体験会」の

プロジェクトの結果・成果

１１月に２つのイベントを開催し、計 150 名の学生や教職員、地域の方等にご参加いただき、『やってみたい』を実現した。以下、企画の内容とイベントの成果を報告する。

①生理痛体験会（生理痛 VR 体験デバイス「ピリオノイド」を用いた疑似体験・ベルトを着用し、5kg～8kg のおもりを段階的に下腹部に乗せる疑似体験）

②生理用品体験会（「生理×災害」をテーマにクイズを行い、多種多様な生理用品をみて、さわりながら解いていただくことで学びを深める企画）

　イベントの参加者に対し、女性特有の問題や関連する SDGs の課題への理解が深まったかアンケートを行った結果、いずれのイベントにおいても、ほぼすべての参加者が「女性特有の問題や関連する SDGs についての理解が深まった」と回答。さらに、約 95%の参加者が「学校や会社等で女性特有の課題解決のためのアクションを起こしたい」と回答した。イベントを通して、年齢や性別を問わず、多くの方から課題を“自分ゴト”として捉えることができたという声や活動に参加したい等の声、更に災害時あまり注目されない生理用品が枯渇するという問題を初めて知り、災害への備え方を再認識する良い機会になったという声を頂いたことは、何より大きな成果である。

　また、活動を通じて企業や自治体、同じ志を持つ仲間に出会えたことも、かけがえのない大きな成果のひとつである。なお、本プロジェクトは日本テレビ news ZERO のテレビ番組及び公式X、日本大学三軒茶屋キャンパスのホームページに取り上げていただいた。

活動写真




